

令和4年度 クリーニング師試験(筆記)問題

衛生法規に関する知識
公衆衛生に関する知識
洗濯物の処理に関する知識

9:00~10:00
(60分)

指示があるまで開いてはいけません。

(注意事項)

- 1 解答用紙の右上の記入欄に受験番号及び氏名を記入してください。
- 2 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 3 解答の誤りを訂正する場合は、消しゴムで消して訂正してください。
- 4 解答は、1つの解答欄に1つだけ記入してください。2つ以上書くとその解答は無効になります。
- 5 試験開始後30分を経過するまでは、退室できません。
- 6 退室するときは、解答用紙を裏返して机上に置いてください。
- 7 試験終了後、解答用紙のみを回収します。問題用紙は持ち帰っても構いません。

I 衛生法規に関する知識

問1 次の記述について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) クリーニング業法は、クリーニング業に対して、経済発展等の見地から必要な指導及び取締りを行い、もってその経営を営業者の利益に適合させるとともに、利用者の利益の擁護を図ることを目的とする。
- (2) 洗濯物の受取及び引き渡しのみを行うことを営業とすることは、店舗の有無にかかわらず、クリーニング業にはあたらないので、クリーニング所の開設の届出は必要ない。
- (3) クリーニング業の営業者は、クリーニング所（洗たく物の受取及び引渡のみを行うものを除く。）ごとに、1人以上のクリーニング師を置かなければならない。ただし、営業者がクリーニング師であって、自ら、主として自己の経営する一か所のクリーニング所においてその業務に従事するときは、そのクリーニング所については、この限りでない。
- (4) 都道府県知事は、クリーニング業の営業者又はその使用人で、洗濯物の処理又は受取及び引渡しの業務に従事するものが伝染性の疾病にかかり、その就業が公衆衛生上不相当と認めるときは、期間を定めてその業務を停止することができる。
- (5) クリーニング所を開設しようとする者は、クリーニング所の位置、構造設備等必要な事項を開設後速やかに、都道府県知事に届け出なければならない。

問2 次の文中の（ ）にあてはまる最も適当な語句を下の語群から1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ・ クリーニング業の営業者は、洗濯物の受取及び引渡しをするに際しては、（ 1 ）で定めるところにより、利用者に対し（ 2 ）を明示しなければならない。
- ・ クリーニング所の業務に従事するクリーニング師は、業務に従事した後（ 3 ）以内に（ 4 ）が指定したクリーニング師の資質の向上を図るための研修を受け、その後は、（ 5 ）を超えない期間ごとに研修を受けなければならない。

ア 3年	イ 苦情の申し出先	ウ 都道府県知事	エ 利用明細書
オ クリーニング業法施行規則	カ クリーニング業法施行令	キ 5年	
ク 厚生労働大臣	ケ 1年	コ クリーニング所における管理衛生要領	

問3 次の記述について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) 伝染性の疾病の病原体による汚染のおそれがあるものとしてクリーニング業法施行規則で指定される洗濯物には、手ぬぐい、タオルその他これに類するものは含まれない。
- (2) おしぼりを貸与し、使用後は回収して洗濯し、さらにこれを貸与することを繰り返して行うことは、クリーニング業法の「クリーニング業」に該当する。
- (3) 営業者は、クリーニング所以外において営業として洗濯物の処理を行ってはならないが、仕上げのみの軽微な作業は、クリーニング所以外で行うことが認められる。
- (4) クリーニング所における衛生管理要領に示されているクリーニング業法施行規則第1条に規定する消毒を要する洗濯物の一般的な消毒方法では、65℃以上の熱湯に10分間以上浸すこととされている。
- (5) 伝染性の疾病の病原体による汚染のおそれのあるものとしてクリーニング業法施行規則で指定する洗濯物を取り扱う場合は、他の洗濯物と区分しておき、洗濯する前に消毒、又は消毒の効果を有する方法によって洗濯しなければならない。

問4 次の文中の（ ）にあてはまる最も適当な語句を下の語群から1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ・ クリーニング師の免許を受けようとする者は、本籍、住所、氏名及び生年月日を書いた申請書を（ 1 ）都道府県知事に申請しなければならない。
- ・ 都道府県知事は、クリーニング師がクリーニング業に関し犯罪を犯して（ 2 ）以上の刑に処されたときは、その免許を取り消すことができる。
- ・ クリーニング所の洗場は、床が、（ 3 ）で築造され、これに適当な勾配と排水口が設けられていなければならない。
- ・ クリーニング業に関する標準営業約款に従って営業することを登録したクリーニング所は（ 4 ）が掲示できる。
- ・ 令和4年4月にプラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律が施行され、プラスチックごみの（ 5 ）や資源循環に向けて、クリーニング業者もプラスチックの3R（Reduce、Reuse、Recycle）+Renewable（再生プラスチックやバイオマスプラスチックの利用）の取組みが求められる。

ア	Sマーク	イ	浸透性材料	ウ	JISマーク	エ	増加
オ	本籍地のある	カ	勧告	キ	クリーニング師試験合格地の		
ク	削減	ケ	不浸透性材料	コ	罰金	サ	Kマーク
						シ	懲役

Ⅱ 公衆衛生に関する知識

問1 次の文章の（ ）にあてはまる最も適切な語句を下の語群から1つ選び、記号で解答欄に記入しなさい。

ウインスローの定義では、「公衆衛生」とは、「(1) の改善、(2) の予防、個人衛生の原則についての個人の(3)、疾病の早期診断と治療のための医療と看護サービスの組織化、および地域社会のすべての人に、健康保持のための適切な(4)を保障する社会制度の発展等のために、共同社会の組織的な努力を通じて、疾病を予防し、寿命を延長し、(5)、精神的健康の能率の増進をはかる科学であり、技術である。」とされている。

ア 標準的	イ 健康	ウ 医療	エ 貧困	オ 経済水準
カ 老化	キ 生活保護	ク 成長	ケ 公衆衛生	コ 教育
サ 生活水準	シ 習慣	ス 肉体的	セ 伝染病	ソ 環境衛生

問2 次の記述について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) クリーニング所から排出されるドライクリーニング用の有機溶剤の清浄化のために使用した使用済みフィルターは、一般廃棄物（燃えるごみ）として廃棄しなければならない。
- (2) おしぼりの衛生的処理等に関する指導基準では、「貸与したおしぼりは、少なくとも一週間以内に回収して処理すること。」とされている。
- (3) 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の主要な感染経路は、接触感染や飛沫感染とされている。
- (4) 厚生労働省から発表されている「食中毒統計」によると、令和3年における食中毒患者数は1万人を超えており、ノロウイルスによる食中毒が最も多い。
- (5) クリーニング所における衛生管理要領によると、「結核、^{でんせんせい}伝染性膿痂疹（とびひ）、^{とうぶはくせん}頭部白癬（しらくも）等の伝染性疾患に従事者が感染した場合には、保健所の許可を受けなければ、その従事者は作業に従事できない。」とされている。

問3 次の文章の（ ）にあてはまる最も適切な語句を下の語群から1つ選び、記号で解答欄に記入しなさい。

- ・ ノロウイルスに係る吐ぶつや便が付着したリネン類を下洗いする際には、（ 1 ）が1,000（ 2 ）以上になるようにして、消毒する。また、下洗い場所は200（ 2 ）の（ 1 ）で消毒を行う。なお、（ 1 ）には（ 3 ）作用があるため、脱色に注意が必要である。
- ・ 新型コロナウイルス感染症患者に使用したリネン類を取り扱うときは、感染予防のため（ 4 ）等による手指消毒が重要である。また、リネン類等は洗剤を用いて（ 5 ）と乾燥をすれば、感染リスクは低いとされている。

ア 消毒用アルコール	イ ppm	ウ 汚染	エ 通常の洗濯	オ 酸化
カ 漂白	キ 発熱	ク ppb	ケ 希塩酸	コ 酢酸
サ ドライクリーニング	シ g/L	ス 次亜塩素酸ナトリウム	セ °C	
ソ 加熱蒸気				

問4 次の記述について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) 病院のリネン類を介して、集団感染する場合があるセレウス菌は、環境中には、通常ほとんど存在しない細菌である。
- (2) クリーニング業は、不特定多数の者が利用する業態の営業であり、公衆衛生の観点から、感染症等の拡大を予防するために十分な対策が必要である。
- (3) 「及ぶ限り最高の健康水準を享受することは、人種、宗教、政治的信条、経済状態のいかんを問わず、すべての人間の基本的権利である。」は、国連憲章が掲げる「健康」の定義の一部である。
- (4) デング熱、ジカウイルス感染症、ウエストナイル熱は代表的な「蚊媒介^{かばい}感染症」である。
- (5) PRTR 制度では、常時雇用者数 21 人以上で、年間1トン以上のテトラクロロエチレンを取扱うクリーニング所は、その排出量等の状況について、都道府県知事を経由し、厚生労働大臣に届け出なければならない。

Ⅲ 洗濯物の処理に関する知識

問1 次の記述について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) ドライクリーニング溶剤として使用されるテトラクロロエチレンの引火点は40°Cである。
- (2) 洗濯物を柔らかく仕上げるためには、上ごて蒸気を使用する。
- (3) MA値はウェットクリーニングなどで参考にされている洗濯機械力の指標の一つである。
- (4) 一般的にクリーニング所におけるランドリーとは、水に対する耐久性のある衣料品を石けん、洗剤、アルカリ剤、漂白剤などを用いて洗濯機を使い水洗いをする洗濯方法をいう。
- (5) アニオン（陰イオン）系とカチオン（陽イオン）系の界面活性剤を併用すると両性イオンになり、洗浄性や起泡性を向上させる補助剤として広く使用される。

問2 次の記述について、あてはまる最も適切な数字を下の語群から1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) ランドリー用水の鉄分は（ ） ppm以下が望ましいとされている。
- (2) ドライ仕上げの最適な蒸気圧は（ ） MPaである。
- (3) 日本産業機械工業会が定める、ドライクリーニング及びランドリーにおける業務用洗濯機械の標準負荷量の計算式は $Q=f \cdot () \pi D^2 L$ で算出できる。
〔Q:標準負荷量 (kg)、f:負荷率 (kg/m³)、D:内胴の内径 (m)、L:内胴の内長 (m)〕
- (4) 石油系ドライ機の使用時にドライクリーニング溶剤の温度が（ ）°C以下で洗浄することが望ましい。
- (5) ナイロン（ ）は染色性が良くわが国で主流であるが、耐熱性、強度、弾性率は世界的に主流なナイロン66に比べて劣る。





ア	0.1	イ	0.5	ウ	1	エ	3	オ	4	カ	6
キ	30	ク	40	ケ	50	コ	1/6	サ	1/4	シ	1/3

問3 次の記述について、()の中から適切な語句を選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) ドライクリーニング溶剤のろ過で使用する(ア:カートリッジフィルター、イ:スピンドディスクフィルター)は円盤を高速回転して遠心力により、ろ布に付着した汚れを分離する。
- (2) 洗剤(界面活性剤)の効果の一つとして、(ア:乳化、イ:けん化)がある。
- (3) ドライクリーニング溶剤は、比重が(ア:小さい、イ:大きい)ほど、たたき洗い効果が小さく、衣類を傷めない。
- (4) 水溶性のシミと油性のシミが複合している場合は、(ア:水溶性、イ:油性)のシミから処理する。
- (5) (ア:アルカリ減量加工、イ:オパール加工)とは、風合いの改善のため耐薬品性の異なる2種類の繊維の一方を溶解して布地に透かし模様を作る加工のことである。

問4 次の記述が説明しているものを下の語群または表示記号から1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) 洗濯での伸び縮みが少なく、乾きが早いなどウォッシュ・アンド・ウェア性が良い性質を持っている繊維の種類。
- (2) かさ高性があるためセーター、毛布によく用いられる。毛玉(ピリング)の発生が多く、害虫に抵抗性のある繊維の種類。
- (3) 一般社団法人日本アパレル・ファッション産業協会が示した「取扱い注意表示ガイド」で「洗濯やシミ抜きは必ずクリーニング店に出すこと」とされる製品の繊維の種類。
- (4) 天然の繊維で形状は細く扁平なりボン状で、自然のよじれが特徴の繊維素材に、一般的に表示されるアイロン仕上げの上限温度を示す記号。
- (5) パルプなどの天然セルロースを原料とし、染色性がよく肌触りがよいが湿潤状態で強度が低下する繊維素材に、一般的に表示されるアイロン仕上げの上限温度を示す記号。

ア アクリル	イ ポリエステル	ウ アセテート
エ 羊毛	オ 絹	カ レーヨン
キ 	ク 	ケ 
		コ 
		サ 